

上笹下連合地区

～自然とともに生きるまち上笹下連合

地区の特性

- 「こまわりくん」の走るまち
- 緑いっぱいの水取沢市民の森があるまち
- 水仙とコスモスがきれいに咲くまち
- 鶯が鳴き笛が飛び交うまち など

青少年の健全なたまり場をつくらう；浜中コミュニティハウスをたまり場にする

【具体策】

- ・どのような場所なのかのイメージを検討する。
- ・対象者は誰か検討する。
- ・学校の開放教室の使用方法について学校側と調整する。
- ・子ども達のニーズを調査しメニューを検討する。
- ・子ども達にも担ってもらおう。
- ・精神保健ボランティアなどにも協力を依頼する。

【体制など】

- ・青少年指導員／体育指導委員／子ども会／少年補導員／学校教師／子ども達
- ☆魅力ある居場所をつくる。
- ☆中学生、高校生は夕方6時以降利用、小学生は土日利用ではどうか。
- ☆けがの対応をどうするか。

高齢者を支えあうしくみを推進しよう(1)；災害時のために要支援者の身分証明書をつくる

【具体策】

- ・要支援者の情報は町内会単位で把握する。組単位（回覧板単位）で把握する。
- ・集めた情報を整理して管理する。
- ・誰が情報を収集し、管理をするのか検討する。
- ・日頃の人と人のつながりをつくるのがねらい。
- ・取り組みについて広くPRすることが必要。

【体制など】

- ・連合町内会／地区社会福祉協議会／各町内会
- ・ボランティアグループにも協力を依頼する。
- ☆個人情報保護の観点から本人の了解を得て情報を得る。
- ☆情報を集める人は怪しまれないよう、統一の身分証明書などを身につける。

高齢者を支えあうしくみを推進しよう(2)；困り事ボランティアの人材、業務の拡充をする

【具体策】

- ・高齢者のニーズを調べる。
- ・町内会単位で行う。調査員の身分証明書をつくり携帯する。取り組みのPRを行う。

【体制など】

- ・連合町内会／地区社会福祉協議会／各町内会
- ☆ボランティア募集の際、難しいことではない点をPRする。

顔見知りの関係をつくらう；一人一人が活躍でき、顔見知りになれる楽しいイベントを企画する

【具体策】

- ・地区社協が協力して、バーベキュー、キャンプなどを、中学生も巻き込んで行う。
- ・子どもの自主的な企画、参加を促す。
- ・子どもの縦の関係を復活する。（登校班の復活等）

【体制など】

- ・自治会／地区社協
- ☆子どもが企画に参加できるしくみが大切。

近隣との交流で防犯をすすめよう；防犯パトロールで地域全体での取り組みをPRする

【具体策】

- ・講習会の開催：防犯についての講習会を実施。
- ・犬の散歩、ウォーキング時に腕章、ベストなどを着用。
- ・暗い所をなくす。木を切る、防犯灯など。
- ・普段から近隣の様子に目を配る（立ち話の効用）
- ・地域内の小学校に学援隊を育てたい。

【体制など】

- ・各町内会から始めて連合地区全体でとりくむ。
- ☆住民全体が危機意識を持つことで連携して取り組んでいく。

災害時に役立つ防災訓練に取り組もう(1)；出前防災講座(実践訓練を含む)を実施する

【具体策】

- ・講座内容、会場、参加者の募集の方法を検討し、開催。
- ・会場に出てこない人のためにビデオを作成する。
- ・関心の高い人にリーダー講習に出てもらえるよう情報や環境を整備する。

【体制など】

- ・連合町内会／自治会／防災拠点委員／家庭防災員

災害時に役立つ防災訓練に取り組もう(2)；行動マニュアルを作成する

【具体策】

- ・三井団地のマニュアルを参考に、各自治会の特性に合わせた実践的な災害時行動マニュアルを作成する。
- ・マニュアルの中に要援護者の名簿（原則申請者）、救助の担当者をいれる。

【体制など】

- ・連合町内会／自治会／防災拠点委員／家庭防災員／支えあい連絡会／関心の高い人
- ☆訓練を受けた人、看護師、技術者などで構成する地域の防災担当者（継続性の確保）
- ☆普段からの近所づきあいが大切。